

JTU 公認初級指導者資格は、トライアスロンの未経験者や初心者を対象として、競技を安全に、そして正しく指導するための公認指導者資格です。この初級資格は、(公財) 日本体育協会 (以下、日体協) 公認「トライアスロン指導員」の専門科目 (40 時間) の 18 時間に該当します。

なお、日体協公認「トライアスロン指導員」の資格取得には、JTU 公認<初級><中級>指導者資格の取得と、日体協公認「共通科目 I」の修了が必要です。

1. 講習会日程と会場 基本的に土曜日・日曜日を利用した 2 日間。
全国各地で開催。(JTU ウェブマガジン等で発表)
2. 受講資格 受講年度 4 月 1 日現在 18 歳以上の JTU 登録者で、次の①～⑦のいずれかに該当する者。

①	トライアスロン大会の完走記録保持者。過去に完走したスタンダードディスタンスの大会 (51.5km) で、参加当時の年齢を基準とする。 30 歳以下 (男子：2 時間 30 分以内、女子：2 時間 45 分以内) 31～40 歳 (男子：2 時間 45 分以内、女子：3 時間 00 分以内) 41～50 歳 (男子：3 時間 00 分以内、女子：3 時間 15 分以内) 51～60 歳 (男子：3 時間 15 分以内、女子：3 時間 30 分以内) 61 歳以上 (男子：完走、女子：完走)
②	ロングディスタンスタイプの場合は、上記①を基準に指導者養成委員会が認めた者。
③	上記記録に相当するスイム、バイク、ランの記録保持者及び 3 種目のいずれか 2 種目以上の指導者資格保持者。
④	スイム、バイク、ランのいずれかの個別種目の指導経験がある者。
⑤	JTU コーチングシンポジウム、JTU 指導資格者研修会、JTU トライアスロン研究会に参加した者。
⑥	JTU 加盟団体の推薦を受け、JTU 指導者養成委員会が認めた者。 (加盟団体の推薦を受け、推薦理由を記載した推薦書を提出する。メール提出基本)
⑦	JTU 指導者養成委員会が認めた者。(上記①～⑥のいずれにも該当しないが、受講を希望する者は、その理由と略歴等を A4 用紙 1 枚程度の文章にまとめて提出する)

3. 受講料 17,000 円 (施設使用料、テキスト代を含む。交通費、宿泊費、食費は各自負担)

4. カリキュラム

科目	時間
指導者の心得・競技の歴史	1.5
基礎理論 1	1.5
基礎理論 2	1.5
競技ルール	2
コンディショニング実技	2
スイム講義	1
スイム実技	2
バイク講義	1.5
バイクメンテ	2
ラン講義	1
ラン実技	2
合計	18 時間

5. 登録料 5,000 円 (登録期間：受講翌年度 4 月 1 日～4 年間)

6. 初級資格取得の手順

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① JTU の HP にて講習会開催要項発表 | ⑤ 指導者登録システムへの登録及び登録料納入 |
| ② 受講申し込み及び受講料納入 | ⑥ 指導者資格証発行 (PDF) |
| ③ 講習会受講 | ⑦ 以降、4 年毎に更新手続き |
| ④ 講習会修了認定及び JTU 理事承認 | |

以上

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認中級指導者資格取得の手引き

更新：2016年4月1日

JTU 公認中級指導者資格は、トライアスロンの初心者や中級者を対象として、競技を安全に、そして正しく指導するための公認指導者資格です。この中級資格は、(公財) 日本体育協会 (以下、日体協) 公認「トライアスロン指導員」の専門科目 (40 時間) の 22 時間に該当します。

なお、日体協公認「トライアスロン指導員」の資格取得には、JTU 公認<初級><中級>指導者資格の取得と、日体協公認「共通科目 I」の修了が必要です。

1. 講習会日程と会場 基本的に土曜日・日曜日・祝日を利用した 3 日間。
全国各地で開催。(JTU ウェブマガジン等で発表)

2. 受講資格

受講年度 4 月 1 日現在 19 歳以上で、JTU 公認初級指導者資格を有する者。

(18 時間の初級科目を修了している者)

※2005 年度以前に初級指導者養成講習会を受講し、9 時間のみ初級科目を修了している者は、下記の 4 科目についてレポート提出が必要。

①基礎理論 ②競技ルール ③バイクメンテ ④ラン

3. 受講料 33,000 円 (施設使用料、テキスト代を含む。交通費、宿泊費、食費は各自負担)

4. カリキュラム

科目	時間
指導実習 1・2・3	6
救急法	4
スイム実技	4
バイク&トランジション実技	5
バイクメンテ	2
ラン実技	1
合計	22時間

(別途、筆記試験有)

5. 登録料 7,000 円 (登録期間：受講翌年度 4 月 1 日～4 年間)

6. 中級資格取得の手順

- ①JTU の HP にて講習会開催要項発表
- ②受講申し込み及び受講料納入
- ③講習会受講
- ④講習会修了認定 (※) 及び JTU 理事承認
※筆記試験不合格者はレポート提出
- ⑤指導者登録システムへの登録及び登録料納入
- ⑥指導者資格証発行 (PDF)
- ⑦以降、4 年毎に更新手続き

以上

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認初級・中級指導者
＜資格更新の手引き＞

更新：2016年4月1日

1. 登録有効期間：4年間（登録年度の4月1日～4年後の3月31日）
2. 更新のお知らせ
毎年、年度末（1～3月頃）に該当者へメールで配信。
メールアドレスを変更した場合は、JTU事務局及び指導者養成委員会（詳細はファイル「8」を参照）へ連絡をすること。
3. 更新の手続き
 - ①指導者登録システムへの登録及び更新料の納入
更新料：初級 5,000円／中級 7,000円
（オンライン受付利用手数料が別途必要）
 - ②過去4年間の指導実績を提出
顕著な指導実績がなければ、指導者関連の研修会・会議等への出席内容を提出。
指導及び研修実績ともになれば、トライアスロン指導に係る活動を提出。
前述①指導者登録システムの該当欄に入力する。
 - ④論文提出
題名・内容は「トライアスロンの指導に関すること」であれば自由。
書式自由、1,200字～2,000字程度、WordまたはPDFファイル。
前述①指導者登録システムにてアップロードする。
過去4年間に公認指導者研修会（※）への参加実績があれば、論文の提出を免除する。
（※）JTU主催のコーチングシンポジウム、指導資格者研修会、研究会及び
日体協の更新義務研修など。
4. その他 日本体育協会トライアスロン指導員の資格を更新する際は、JTU中級指導者資格を保有していることが条件となるので、有効期間に注意すること。

以上

(公社) 日本トリアスロン連合 (JTU) 公認初級・中級指導者
＜資格再交付の手引き＞
(指導者資格の有効期限が切れた方へ)

更新：2016年4月1日

1. 指導者資格の再交付を希望する際は、下記の必要事項を JTU 事務局及び指導者養成委員会（詳細はファイル「8」を参照）へ連絡する。

氏名

JTU 登録都道府県

JTU 登録番号

失効資格 初級 or 中級

失効年月日（西暦） _____年3月31日

2. 登録有効期間：失効期間によって異なるため、詳細は問い合わせ時に通知する。

3. 再交付の手続き

- ①指導者登録システムへの登録及び登録料の納入

登録料：初級 5,000 円／中級 7,000 円

(オンライン受付利用手数料が別途必要)

- ②過去4年間の指導実績を提出

顕著な指導実績がなければ、指導者関連の研修会・会議等への出席内容を提出。

指導及び研修実績ともになれば、トリアスロン指導に係る活動を提出。

前述①指導者登録システムの該当欄に入力する。

- ④論文提出

題名・内容は「トリアスロンの指導に関すること」であれば自由。

書式自由、1,200字～2,000字程度、Word または PDF ファイル。

前述①指導者登録システムにてアップロードする。

過去4年間に公認指導者研修会(※)への参加実績があれば、論文の提出を免除する。

(※) JTU 主催のコーチングシンポジウム、指導資格者研修会、研究会及び
日体協の更新義務研修など。

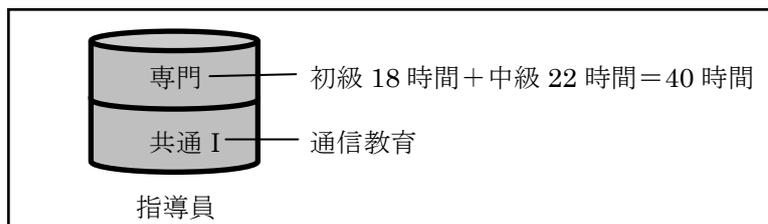
以上

1. 日本体育協会公認指導者資格概要

日本体育協会（以下、日体協）公認の指導者資格には、指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチなど、様々な資格がある。現在、トライアスロンで認定されているのは「指導員」資格である。カリキュラムの詳細は <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/203/Default.aspx> を参照。

2. 日体協公認トライアスロン指導員概要

日体協の指導員資格は「専門科目 40 時間以上」と「共通 I」の 2 つを受講する必要がある。専門科目は「専門」という名称の通り、各競技の専門的な講習を行う。例えば、陸上の場合には日本陸上競技連盟、水泳の場合には日本水泳連盟、そしてトライアスロンの場合は JTU が講習会を行う。JTU では「初級 18 時間＋中級 22 時間」で 40 時間以上という規定を満たすように設定している。共通 I は「共通」という名称の通り、全競技共通の講習であり、陸上も、水泳も、トライアスロンも、講習内容は同じである。講習形式は座学ではなく、NHK 学園の通信教育を受講する。テキストを読み、課題を郵送で提出する。



資格は基本的には「JTU 初級→JTU 中級→共通 I →日体協指導員」という流れで取得する。（例外あり。後述 4. を参照）

【共通 I 申込方法】

- (1) 日体協の web サイトから「指導者マイページ」に登録する。
<http://www.japan-sports.or.jp/>（指導者マイページは誰でも登録可能）
- (2) マイページにログイン後、「資格を取りたい」→「養成講習会を探す」→「トライアスロン指導員」を検索して申し込みを行う。免除の実施は「する」を選択。共通科目は「免除しない」を選択。専門科目は「免除を行う」を選択して、資格名に「JTU 中級指導者」と記入し、中級指導者資格証を添付する。
- (3) 申込期間は例年 6 月 1 日～6 月 30 日だが、正式な期間は日体協の web サイトにて確認すること。
- (4) 後日、共通 I のテキストが送られて来るので、学習開始。

3. 共通 I 受講料 19,800 円

指導員登録料 初回 13,000 円（4 年間）／更新 10,000 円（4 年間）

4. 共通 I 受講免除規定

JTU 中級指導者が次の条件を満たす場合は共通 I の受講が免除され、日体協トライアスロン指導員に認定される。

- [1]すでに公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーなど）を保有している。
- [2]免除適応コース修了証明書を保有している。
- [3]その他関連資格を保有している。

詳細は <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/225/Default.aspx> を参照。

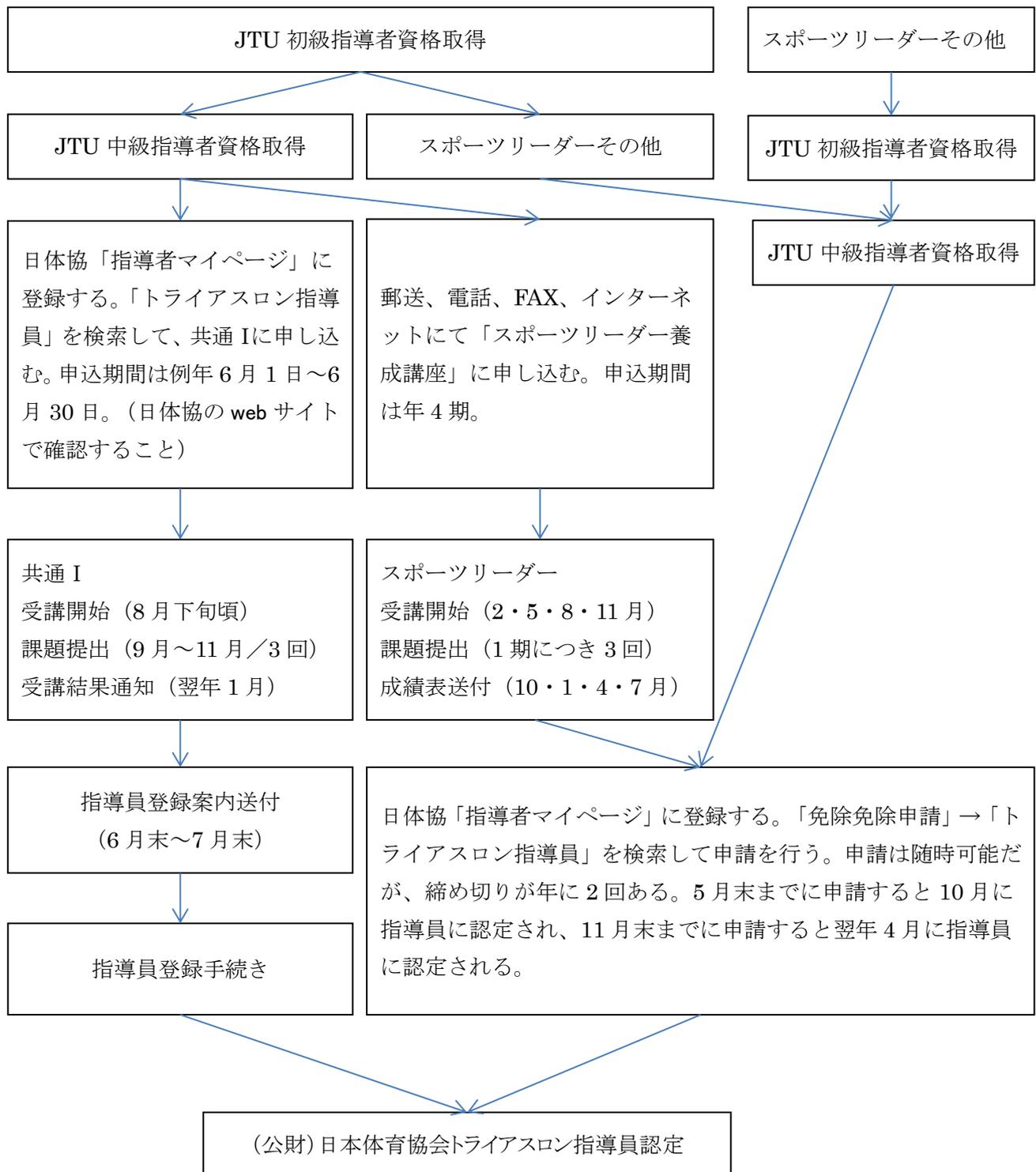
【共通 I 免除申請方法】

- (1) 日体協「指導者マイページ」に登録する。（前述参照）
- (2) マイページにログイン後、「資格を取りたい」→「免除免除申請をする」→「トライアスロン指導員」を検索して申請を行う。共通科目の免除内容は、各自該当の項目を選択。日体協公認有資格者は免除書類添付不要。免除適応コース修了者は免除書類を添付する。スポーツリーダーは「その他免除理由」を選択し、免除書類を添付する。専門科目の免除対象資格名は「JTU 中級指導者」と記入し、中級指導者資格証を添付する。
- (3) 申請は随時可能だが、締め切りが年に 2 回ある。5 月末までに申請すると 10 月に指導員に認定され、11 月末までに申請すると翌年 4 月に指導員に認定される。

5. JTU 初級指導者は、中級指導者養成講習会を受講する前に「日体協スポーツリーダー」を取得しておく、効率的に日体協トライアスロン指導員資格を取得することができる。スポーツリーダーの詳細は <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/205/Default.aspx> を参照。

以上

指導者資格取得手順



※「スポーツリーダーその他」に該当するのは、下記のいずれかの者。

- ・すでに公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーなど）を保有している。
- ・免除適応コース修了証明書を保有している。
- ・その他関連資格を保有している。

参考 web サイト <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/225/Default.aspx>

- ①2013年から、国体の正式競技の監督は日体協資格保有が義務となっています。
- ②公開競技の監督は「日体協資格保有者が望ましい」と、やや緩和された規定となっています。
- ③2015年までは、トライアスロンはまだ公開競技です。
- ④2016年から、トライアスロンは正式競技となります。

従って、2016年以降は日体協の資格を持っていないとトライアスロン競技の監督には就任できません。

- ⑤対象となるのは、指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチ、教師、上級教師の6資格です。
- ⑥どの資格を保有義務とするかは、各競技の中央競技団体（トライアスロンの場合はJTU）が決定します。
- ⑦2015年現在、トライアスロンの指導者資格で認定されているのは「指導員」のみです。

従って、現状では「日体協公認トライアスロン指導員」の資格を保有していれば、国体の監督に就任する条件を満たします。なお、2016年の岩手国体については、2016年4月1日までに指導員登録を済ませる必要があります。

最短の指導員資格取得日程① (共通I受講)	最短の指導員資格取得日程② (共通I免除／スポーツリーダー取得)
2013年3月まで JTU 初級指導者養成講習会受講	2014年3月まで JTU 初級指導者養成講習会受講
2014年3月まで JTU 中級指導者養成講習会受講	2015年3月まで JTU 中級指導者養成講習会受講
2014年4月 JTU 中級指導者登録	2015年4月 JTU 中級指導者登録
2014年6月 共通I申し込み	2015年10月まで スポーツリーダー取得
2014年9月～11月 共通I学習	2015年11月末日まで 共通I免除申請
2015年1月 共通I修了証明書送付	2016年4月1日 指導員登録
2015年6月 合格証・登録申請カード送付	2016年 国体開催
2015年10月1日 指導員登録	
2016年 国体開催	

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 指導者資格に係るメール送信先と担当

[1] 申請書類の送付先

- 1) JTU 指導者養成委員会 (担当: 矢野委員長)
メール: stay-dream.ryu@rapid.ocn.ne.jp
- 2) JTU 事務局
メール: jtuoffice01@jtu.or.jp

* メール送信時の基準

- ・ 上記に同報送信する。
- ・ 「件名」は次のように明記する。
例. 「初級指導者養成講習会・推薦書提出」
「中級指導者資格・再交付申請」など

[2] 指導者登録システムと支払い方法

- 1) 登録料や更新料は、指導者登録システムに登録の上、選択した支払い方法にて入金する。
- 2) 指導者登録システムの URL は別途案内する。
- 3) 支払方法
 - ・ コンビニ払い
 - ・ ペイジー対応のインターネットバンキング、ATM
 - ・ クレジットカード

[3] (公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 所在地

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-3-8 第2栄来ビル 6F

TEL: 03-5469-5401 (代)

FAX: 03-5469-5403

Eメール: jtuoffice@jtu.or.jp

ウェブ: <http://www.jtu.or.jp/>

以上